

重点課題

- 【課題1】 文章全体の構成を捉え、内容の中心となる事柄を把握する。(設問2一) 読むこと (平均正答率44.4%) 説明に必要な資料を全て取り上げられていない児童が38.9%
- 【課題2】 学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使う。(設問3三(1)ウ) 言葉の特徴や使い方に関する事項 (平均正答率61.1%) 正しく書くことができていない児童が38.9%

重点課題に対応した改善指導内容及び方法 (授業)

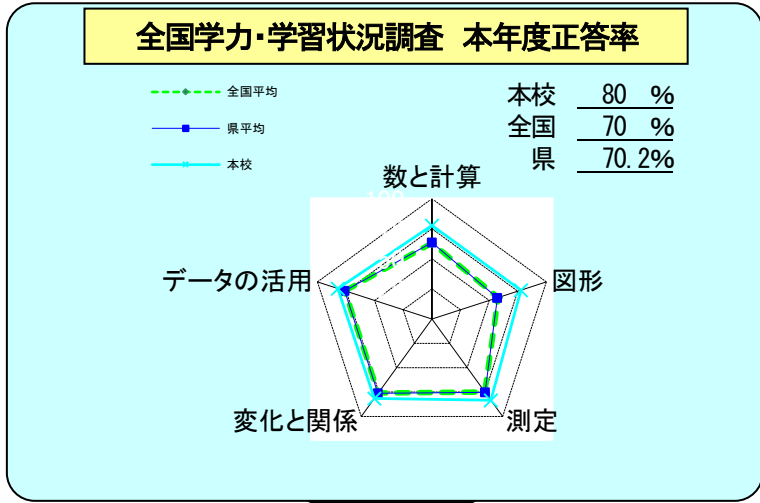
- 【課題1】・ 単元構成を工夫し、教科書教材の文学的文章や説明的文章の学習において、叙述に即して、中心となる語や文を見つけてまとめる活動を取り入れるようにする。
- 【課題2】・ 前学年までの既習の漢字を定着させるために、国語科の教科書の復習ページやテストの裏の復習問題等を活用し、繰り返し前年度までの漢字を復習させることで、文章の中で正しい漢字を書くことができるよう指導する。

※ 小中一貫した取組については、「読むこと」において、目的に応じて文章と図表やグラフ等を結び付けて読み、必要な情報を見つけたり、論の進め方について考えたりする」活動を多く取り入れる。

【課題1】	9月	10月	11月	12月 全学年 学期末テスト	1月 全学年 標準学力調査	2月 5年 R3全国学力・学習状況調査	3月 全学年 学年末テスト
学年・方法							
目標値				70%以上 85% 30%未満 0	全国平均正答率を3 ポイント上回る	正答率30%	70%以上 85% 30%未満 0
実施後数値							

【課題2】	9月	10月	11月	12月 全学年 学期末テスト	1月 全学年 標準学力調査	2月 5年 R3全国学力・学習状況調査	3月 全学年 学年末テスト
学年・方法							
目標値				70%以上 85% 30%未満 0	全国平均正答率を3 ポイント上回る	正答率54.4%	70%以上 85% 30%未満 0
実施後数値							

来年度に向けて



重点課題

【課題1】 速さを求める除法の式と商の意味を理解している。(設問1(3))
変化と関係 (平均正答率61.1%) 速さを求める除法の式と商の意味を正しく理解できていない児童が33.3%

【課題2】 商が1より小さくなる等分除(整数)÷(整数)の場面で、場面から数量の関係を捉えて除法の式に表し、計算する。(設問4(2))
数と計算 (平均正答率61.1%) 除数と被除数が反対になっている児童が38.9%

重点課題に対応した改善指導内容及び方法(授業)

【課題1】

- 速さなど単位量当たりの大きさの意味及び表し方について生活場面と関わらせながら指導する。
- 具体的な場面から問題を設定し、立式する活動を取り入れる。その際、式の表す意味を確認する。

【課題2】

- 式に表す際に図や具体物を用いた操作など関連付けながら、式の意味を深める活動を設定する。
- 被除数と除数や商について、自分の解答が問題場面に合っているか、他の数値の場合でも成り立つかどうかなどを確かめるよう指導する。

※ 小中一貫した取組については、図形の性質を用いていろいろな図形の角度や面積を求めたり、論理的に説明したりする活動を設定する。

【課題1】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法				全学年 学期末テスト	全学年 標準学力調査	5年 R3全国学力・学習状況調査	全学年 学年末テスト
目標値				70%以上 85% 30%未満 0	全国平均正答率を3 ポイント上回る	平均正答率55.8%	70%以上 85% 30%未満 0
実施後数値							

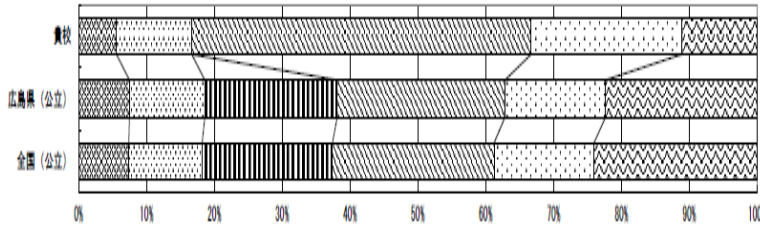
【課題2】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法				3～6学年 活用テスト	全学年 標準学力調査	5年 R3全国学力・学習状況調査	全学年 学年末テスト
目標値				60%以上 85% 30%未満 0	全国平均正答率を3 ポイント上回る	平均正答率55.5%	70%以上 85% 30%未満 0
実施後数値							

来年度に向けて

質問紙調査 (全国学力・学習状況調査：児童質問紙調査) (児童生徒学習意識等調査：児童質問紙調査)

(1) 生活・学習

学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、読書を読みますか（教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）

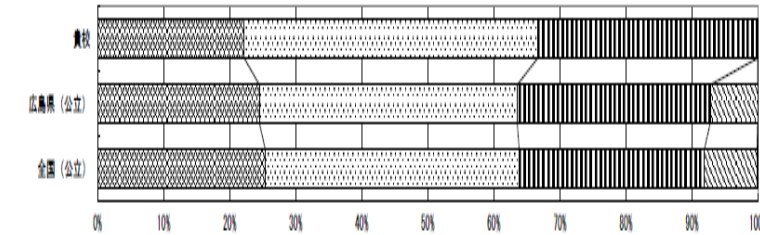


	児童の回答についての課題（現状値）	今後の具体的な取組の内容	学年	目標値	検証方法	検証時期	実施後数値
全国・学習意識等	「学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、読書を読みますか（教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）」という質問に「30分以上」と回答した児童の割合が低い。（現状値 16.7%）	朝の時間などを利用し、読書の時間を確保する。「はらどくカード」を活用し、読書量を記録させることで、読書に対する意欲を高める。また、読書交流会などを取り入れ、読書への興味・関心が高まるようにする。	5 6	70%	児童アンケート調査 「原読カード」の読書目標冊数の達成率	2月	

(2) 教科

国語の授業では、目的に応じて、自分の考えを話したり必要に応じて質問したりしていますか

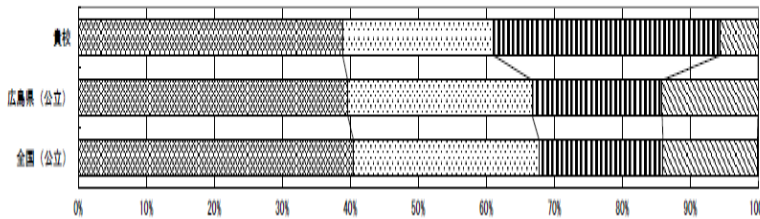
○1. 当てはまる ○2. どちらかといえば、当てはまる ○3. どちらかといえば、当てはまらない ○4. 当てはまらない ■ その他 □ 無回答



	児童の回答についての課題（現状値）	授業改善の方向性や具体的な取組	学年	目標値	検証方法	検証時期	実施後数値
全国・学習意識等	「国語の授業では、目的に応じて、自分の考えを話したり必要に応じて質問したりしていますか」という質問に肯定的回答をした児童の割合が低い。（現状値 66.6%）	児童用タブレットを活用し、お互いの意見を共有し、必要に応じて自分や友達の意見を確認し、自信をもって話したり質問したりできるようにする。	5 6	70%	児童アンケート調査	2月	

算数の授業は好きですか

○1. 当てはまる ○2. どちらかといえば、当てはまる ○3. どちらかといえば、当てはまらない ○4. 当てはまらない ■ その他 □ 無回答



	児童の回答についての課題（現状値）	授業改善の方向性や具体的な取組	学年	目標値	検証方法	検証時期	実施後数値
全国・学習意識等	「算数の授業は好きですか」という質問に肯定的回答をした児童の割合が低い。（現状値 61.1%）	ICTや児童用タブレットを活用し、問題を視覚化して考えさせる。ロイロノートを活用して、意見交流する機会を増やす。	5 6	70%	児童アンケート調査	2月	